

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●サマーシリーズが開幕

毎夏恒例のサマーシリーズが本年も開幕しました。「サマースプリントシリーズ」は、キミワクイーンが勝利した6月11日(日)の函館スプリントS(GⅢ)から9月10日(日)のセントウルS(GⅡ)まで全6戦、「サマー2000シリーズ」は7月9日(日)の七夕賞(GⅢ)から9月3日(日)の新潟記念(GⅢ)まで全5戦、「サマーマイルシリーズ」は6月17日(土)の米子S(L)から9月10日(日)の京成杯オートムH(GⅢ)まで全4戦の予定。「サマージョッキーズシリーズ」は以上の全15戦が対象となります。

●全国ポニー競馬選手権「第13回ジョッキーベイビーズ」開催

本年も全国ポニー競馬選手権「ジョッキーベイビーズ」が開催されることとなりました。7月9日(日)の沖縄地区を皮切りに、8月20日(日)の東北・新潟地区まで計7戦の地区代表決定戦・選考会が行われ、関東地区2名、その他の地区から各1名の計8名を地区代表として選出。決勝大会は10月8日(日)の4回東京2日、最終レース終了後に東京競馬場の芝コース・直線400mで実施される予定です。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例のロンジンワールドベストレースホースランキングが発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2023年1月1日から6月4日までに実施された世界の主要レースが対象で、前回までに引き続きイクイノックスが首位(129)をキープ。日本調教馬はイクイノックスのほか、タイトルホルダーが第4位(124)、ウシュバテソーロが第8位タイ(122)、ドウデュース、パンサラッサ、ソールオリエンズ、リパティア일랜드が第17位タイ(120)と計7頭がランクインし、リパティア일랜드は3歳牝馬のトップとなっています。

●ラウダシオンの競走馬登録抹消

2020年NHKマイルカップ(GⅠ)などの勝ち馬ラウダシオン(牡6歳/栗東・斉藤崇史厩舎/JRA通算20戦5勝・地方1戦0勝・海外4戦0勝)は、5月25日(木)付で競走馬登録を抹消されました。今後はオーストラリアへ移籍する予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●パライバトルマリンが関東オークス(川崎)で重賞初制覇

関東オークス(JpnⅡ、3歳牝馬、6月14日、川崎、2100m)は、2番手から2周目3、4コーナー中間で先頭に立った3番人気のパライバトルマリン(戸崎圭太騎手、父マリブムーン)がそのまま押し切りました。クレメダンジュが1馬身差の2着に入り、1番人気に推されたメイショウオーロラは3着、逃げた2番人気のフェブランジュは7着に後退しています。

●東北優駿、兵庫ダービーは牝馬が優勝【各地の主要3歳重賞】

東北優駿(6月11日、水沢、2000m)は、3番手から最後の直線に入って間もなく抜け出した2番人気のミアアチュール(牝、父ラプリーデイ)が後続を4馬身引き離し、重賞5連勝でダイヤモンドCに次ぐ岩手二冠を達成。船橋からの転入初戦で、単勝1.2倍の圧倒的支持を集めたロッソナブアは3着に敗れました。兵庫ダービー(6月14日、園田、1870m)は、2番手を進んだ兵庫2歳王者スマイルミーシャ(牝、父カレンブラックヒル)が向正面半ばで先頭に立つと、兵庫二冠を狙った2番人気の菊水賞馬ベラジオソノダラブに3馬身差を付け、単勝1.8倍の支持に応えて3度目の重賞制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ベルモントS〜アルカンジェロが米三冠最終戦を制す

現地6月10日にアメリカ・ニューヨーク州のベルモントパーク競馬場で行われたG1ベルモントS(3歳、ダート2400m)は、中国の内でレースを進めたアルカンジェロ(牡3歳、父アロゲート)が内ラチ沿いを通して直線入り口で先頭に立つと、そのまま後続の追い上げをしのいで優勝しました。G1フロリダダービーとG1ブリーダーズCジュベナイルの勝ち馬で、G1ケンタッキーダービーは出走取消となっていたフォルテは外から追い込みましたが、1馬身半差の2着。G1ブリークネスSを勝って臨んだナショナルトレジャーは逃げて6着に終わりました。勝ったアルカンジェロはBCクラシックやドバイワールドCなど4つのG1を制したアロゲート(2020年に7歳で死亡)の産駒。今年3月にデビュー3戦目(ダート1600m)で初勝利を挙げると、続く前走5月のG3ピーターパンS(ダート1800m)も連勝してここに臨んでいました。鞍上のJ.カステリャーノ騎手はこのレース初制覇。管理するJ.アントヌーチ調教師は女性調教師として初めて米三冠レースを制しました。